



子どもたちの健康を守りましょう

校長 枝田 博教

小・中学校では、年度当初に学校医のご協力を得て定期健康診断を行っています。現在、全ての検診が終了しました。

その内容は、①身長や体重の計測 ②視力検査 ③心臓検診 ④内科(結核)検診 ⑤耳鼻科検診 ⑥聴力検査 ⑦尿検査 ⑧眼科検診 ⑨歯科検診 の9領域です。

主な目的は、

- ① 児童・生徒の健康・発育・発達の状態を把握し健康の保持増進を図る。
- ② 自主的に健康生活を実践する習慣や態度を養う。
- ③ 疾病や異常を早期に発見し、早期治療に努める。等です。

そして、個々の診断結果が各学校から全ての保護者に配布され、疾病や異常に関する報告や病院受診が勧められることとなります。しかし、この後から各学校が毎年共通して抱えている大きな課題が起きます。

それは、疾病や異常があった場合の病院受診や治療率の少なさです。特に、むし歯治療率がなかなか向上しない実態があります。昨年度の本校のむし歯治療率は、50%台でした。

子どもたちは、歯みがきが一人で十分できず、面倒になって忘れがちです。しかし、人が健康的に生きていくためには、高齢者になった時に健康な歯をどれだけ維持できているかが大切だと言われています。また、口腔内の異常が他の病気を引き起こすとも言われています。むし歯治療は、必要不可欠です。

それでは、子どもたちの健康は誰が守るべきでしょうか。私は、「保護者」「医師(病院)」「学校」の三者だと考えます。

学校医が身体の状態を調べ、学校が保護者に連絡し、保護者が子どもを病院に連れて行き治療を受けさせる流れが滞りなくできることが肝要です。三者の連携が、子どもたちの健康な身体を守っていくこととなります。

早期の対応で、子どもたちの命を脅かすリスクも保護者の心配も軽減されます。ぜひ、三者が連携して子どもたちの健康を守っていきましょう。

むし歯治療については、PTA総会資料内の保護者向けの共通実践事項(下に記載)でも、お願いをしています。

家庭での歯の健康管理(予防と治療)に努め、むし歯治療率70%を目指す。

PTA奉仕作業お礼

5月21日(日)の早朝から、第1回目のPTA奉仕作業を実施しました。当日は、多くの保護者と6年生が参加してくれたことに感謝いたします。他学年の子どもたちのお手伝いもうれしいことでした。

予定の1時間を越えた作業でしたが、皆様の素早い作業のおかげで敷地内がきれいになりました。ありがとうございます。また、多くの草刈り機や運搬用のトラック等を出して作業をしていただいたことにも感謝申し上げます。



「人権標語」紹介 第2弾

5月号で紹介した「人権標語」の第2弾を紹介します。作者は、2年生の小本地 陽斗さんです。

おともだち わるいこがいたら ぼくがまもってあげる
お友達にとって、たいへん心強い言葉ですね。

6月下旬～7月中旬の主な行事予定

- 6月18日(日) 串良小・中学校親子バレーボール大会
- 6月20日(火) 民生委員連絡会(串良中)
- 6月21日(水) 家庭訪問⑦(5年生) 5年生4校時まで
幼保小連絡会(1年生:5校時まで)
- 6月27日(火) 小中合同学校保健委員会(串良小)
- 6月28日(水) SC来校 PTA役員会(19時～)
- 7月 3日(月) 市教育委員会学校訪問(午前中)
- 7月 4日(火) エイズ予防学習(4年生)
- 7月 6日(木) PTA常任委員会(19時～)
- 7月 8日(土) PTA交通安全の日 3年親子レク
- 7月11日(火) 学級PTA ほたる号来校

親子教育講演会

6月10日(土)、親子教育講演会を実施しました。講師は、鹿屋市内在住の「有園 あつこ」さんです。

内容は、ストレスの軽減と自己尊重感の育成ができる「ほめ日記」についてです。ほめ日記とは、周囲の人の良いところや自分のいいところを見つけて日記に書くことで、自己尊重感が育ちポジティブな考えを持てるようになるものです。

まず、子どもたちはほめ言葉の具体例を聞いて、隣の人をほめました。次に、自分をほめる文章を書きました。最初は難しいと思っていましたが、上学年の子どもたちは次々と記入していました。最後は、感想を発表しました。自分をほめていいんだと気付いた子どもたちでした。

保護者の皆さん、いかがだったでしょうか。講演会を境に、子ども・保護者・教師のほめ合いが広がることを願います。有園講師と参加された保護者の皆様、ありがとうございました。



5月下旬～6月中旬の行事



スケッチ大会



歯みがき教室



児童総会:話し合い



授業参観:1年生